

第 88 回日本マイコトキシ学会学術講演会では、学生会員の口頭発表およびポスター発表の中の優れた発表に対して、ベストプレゼンテーション賞を授与しました。口頭発表では 13 名の学生を 6 名の審査員が(1)スライドの適切さ、(2)発表の分かり易さ、(3)質疑応答の適切さ、の 3 項目について 5 段階で絶対評価しています。ポスター発表では 13 名の学生を 3 つのグループに分け、それぞれのグループについて 5 名ずつ、全体で合計 15 名の審査員が(1)ポスターの適切さ、(2)説明の分かり易さ、(3)質疑応答の適切さ、の 3 項目について 5 段階で絶対評価しています。それぞれ以下の 3 名の方が授賞されました。

<口頭発表>

O-4 三上力輝(筑波大学大学院生命地球科学研究群)

「糸状菌における細胞外膜小胞を介した二次代謝産物輸送経路の探索」

O-10 山田茉鈴(東京理科大学生命システム工学科)

「ステリグマトシステン遺伝子クラスター転写因子 AfIR の DNA 結合ドメインの機能解析」

O-12 松坂怜央(麻布大学獣医薬理)

「カビ毒ニバレノールの曝露はマクロファージからの TNF α の産生誘導を介して、マウスにおけるアトピー性皮膚炎発症を有意に増強する」

<ポスター発表>

P-07 須藤快(筑波大学大学院生命地球科学研究群)

「もみ殻培地中で糸状菌が産生する二次代謝化合物の生態的機能の解明」

P-18 井能沙也加(東洋大学大学院理工学研究科)

「*Myrothecium* 属菌が有する非生産トリコテセンへの糖抱合活性」

P-20 安藤華蓮(東洋大学大学院理工学研究科)

「A 型トリコテセンにおける脱アシル化の検証」